

令和7年4月1日

学校法人 立志舎
名古屋動物専門学校

令和7年度学校情報提供

専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン並びに学校法人立志舎情報公開規程に基づき、本校における教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供いたします。

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 目的・特色

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。これを実現するために、カリキュラムの編成などを行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。

本学の特色は、独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。また動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け動物業界のみならず異業種企業や官公庁にも就職している。

(2) 概要

学園名称	学校法人 立志舎
理事長	塚原 一功
学校名称	名古屋動物専門学校
校長	吉田 裕孝
所在地	〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町14番8号
連絡先	TEL 052-452-1411

(3) 学校の沿革

平成21年2月5日	学校設置認可
平成21年4月1日	名古屋動物専門学校開校
平成26年3月31日	文部科学大臣より動物管理専門課程 動物管理学科が職業実践専門課程に認定
令和元年9月10日	高等教育の修学支援新制度の対象校として愛知県知事より確認
令和4年4月1日	動物看護学科を設置

(4) その他の諸活動に関する計画

避難訓練実施

消防計画

危機管理マニュアルの整備

2. 各学科の教育

(1) 入学者に関する受入れ方針及び入学定員及び総定員

・受入れ方針

入学選考は愛知県専修学校各種学校連合会の規定に沿って作成した募集要項により適正に選考を行っている。提出された入学願書の志望理由を中心に調査書・成績証明書も参考にして本学教育内容の理解度や今後の熱意を把握し合否の判定をしている。

入学選考のうちAO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に合否の判定を行っている。留学生に関しては専門の職員を置き留学生全員に筆記試験・面接試験を行い日本語能力、経費支弁能力、日本語学校の出席状況などをもとに入学選考を適正かつ公平に行っている。

・定員

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
動物管理専門課程	動物管理学科	2年	110名	220名
	動物看護学科	3年	80名	240名
合計			190名	460名

(2) 授業計画表（シラバス）

入学年度	学科
2023	動物看護学科（3年制）
2024	動物看護学科（3年制） 動物管理学科
2025	動物看護学科（3年制） 動物管理学科

(3) 進級・卒業の要件等

【成績評価基準】

- ・単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・合格者の成績評価割合は、成績上位から10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。
- ・あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳正かつ適正に単位授与および履修認定を行う。

【GPA の算定】

1. 学期末に上記Ⅲの成績評価に基づき、秀・優・良・可・不可の評価を行う。
2. 上記の評価に基づき GPA を算定する。

(1) 算定方法

- ① 1 単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0 とする。
- ② 秀（取得科目数） 優（取得科目数） 良（取得科目数） 可（取得科目数）
 $4.0 \times \text{取得単位数} + 3.0 \times \text{取得単位数} + 2.0 \times \text{取得単位数} + 1.0 \times \text{取得単位数}$
= GPA 換算数
- ③ GPA 換算数 ÷ 総履修単位数（不可の履修単位数を含む）
= 個人の GPA（小数点 3 位を四捨五入）

(2) 実施時期

前期（4 月から 9 月）、後期（10 月から 3 月）の 2 回実施し、3 月末に年間 GPA をシステム上で算定する。

【卒業・進級の認定基準】

1. 進級基準

進級するために必要な単位数を、次の通りとする。

動物管理学科

グルーミングコース	30 単位
ドッグトレーニング&ケアコース	30 単位

動物看護学科

動物看護コース（1 年から 2 年へ進級時）	28 単位
動物看護コース（2 年から 3 年へ進級時）累計	55 単位

2. 卒業単位

卒業するために必要な単位数を、次のとおりとする。

動物管理学科

グルーミングコース	55 単位
ドッグトレーニング&ケアコース	55 単位

動物看護学科

動物看護コース	81 単位
---------	-------

3. 卒業判定会議を卒業年次の 2 月末に実施する。

以下の学科を修了した者には専門士の称号を付与する。

専門課程名	学科名	称号名
動物管理専門課程	動物管理学科	専門士（動物管理専門課程）
動物管理専門課程	動物看護学科	専門士（動物管理専門課程）

(4) 取得資格、検定試験合格等の2024年度学園実績

資格・検定名	合格者数
ビジネス能力検定(ジョブパス)	674
全日本ハンドリング検定	759
家庭動物管理士3級	759
愛玩動物管理士2級	635
サービス接客検定2級	452
愛玩動物看護師国家試験	187

(5) 卒業後の進路

・主な就職先

イオンペット、A H B、ひごペットフレンドリー、ペットフレンズコーポレーション、犬の家・猫の里、ペットワールドアミーゴ、PET & LIFE、松波動物病院メディカルセンター、岐阜大学応用生物科学部附属動物病院、三重動物医療センターなるかわ動物病院、もりやま犬と猫の病院、犬山動物総合医療センター、平成動物病院、ダイゴペットクリニック、NPO 法人出会いの森、公務員（航空自衛隊）など

3. 教職員

(1) 教職員数

教員数		職員数
本務者（休職者を含む）	兼務者	本務者のみ
19名	15名	4名

(2) 教員の専門性

・教員に対する研修等の基本方針

動物を取り巻く業界内の環境は日々進化しており、動物に関する専門知識・技術を教育する本学の教員も社会で活用されている実践的な技術と知識を修得する必要がある。そして修得した技術と知識を、常に今後の動物産業を担う者たちへの育成教育に活かすことを目的として、また教員研修規程に従い職能団体と連携して定期的に研修を行う。なお、授業及び学生に対する指導力等の修得向上のための研修等も定期的に行っていく。

・研修等の実績

「介助犬フェスタ 2024」（連携企業：社会福祉法人 日本介助犬協会）

「展示動物の生態や飼育方法について理解を深める」（連携企業：名古屋市東山動植物園）

「ペットフードの知識や栄養学について理解を深める」（連携企業：ロイヤルカナンジャパン合同会社）

「人権研修」（連携企業：株式会社ベネッセコーポレーション 社会人教育事業本部）

「ハラスメント防止研修」（連携企業：公益財団法人 東京都人権啓発センター）

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

本学では、目標とする資格や技術を明確に定め、その習得がより確実になるようなカリキュラム編成

をしている。また、学内就職セミナー等で企業から回収したアンケート回答を基にした「企業が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、動物関連業界を中心に多岐にわたる業界や職種のニーズに対応できる教育を実践している。

(2) 実習・実技等の取組状況

カリキュラムは、各コースで目標とする資格の取得および企業の求める人材ニーズに対応するために、年2回教育課程編成委員会を開催しており、外部委員の意見を参考にしてカリキュラム作成委員会において必要な科目を体系的に編成している。その際、各科目のシラバスを作成し目標達成のための科目を適正に配置している。

専門知識や技術の習得に加え、ビジネスマナーやコミュニケーション能力などの向上を図るキャリア教育を実践するため該当する授業科目を設置し、官公庁および企業の人事担当者による説明会も実施している。

・具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ	動物業界における職業観の確立と、学校で学んだ知識や技術、ビジネスマナーを実際の現場で実践する。	イオンペット、A H B、犬の家・猫の里、犬山動物総合医療センター、平成動物病院、ワンラブ等
グルーミング論 I	グルーミング実習を行うにあたり使用する用具・用品の適切な使用方法・手入れの方法や生体管理の基礎について講義・実演を行う。	有限会社ペッツピー・ディー 株式会社東光舎 大東電機工業株式会社
犬の行動心理学 I	ドッグトレーニングの基本であるしつけと訓練の違いや、人間と犬との関係性（コミュニケーション）の築き方を学ぶ。	一般社団法人 ジャパンアニマルホスピス
基礎獣医学IV	個々の動物の生命と健康に害を及ぼす各種要因について、動物衛生全般とオーラルケアについて学ぶ。	ライオン商事株式会社
ホリスティックケア I	人と動物との関わり方を学ぶとともに動物へのケアを学ぶ。また、特別介護施設等で動物介在活動を実施し、参加者とのコミュニケーションスキルを身に付けることも目標とする。	Ciel Chien

(3) 就職支援等への取組状況

・新入生就職セミナー

資格と仕事との関係や、企業研究のポイント、公務員試験の仕組みなどを理解するセミナーを入学直後に開催。

・自己理解セミナー

就職活動前に、自分と向き合うセミナー。キャリアコンサルタントの講師をお招きして、ライフライ

ンチャートの作成、グループワーク、大事にしたい価値観、強みと弱みからジョブカードの作成まで行う。

- ・個人指導

担任の先生と業界・企業知識が豊富な就職部スタッフが連携して、一人ひとり個性に合わせたアドバイスを行う。

- ・進路決定のためのガイダンス（学生・保護者）

10月にその年の就職と公務員試験の動向を理解するために、保護者の方を交えたガイダンスを開催。

- ・学内就職セミナー

毎年変化する就職・公務員試験の最新動向を知るためのガイダンス。全国に広がるグループ力を活かしたUターン就職のアドバイスなども行っている。

- ・官公庁説明会

毎年変化する就職・公務員試験の最新動向を知るためのガイダンス。

5. 様々な教育活動・教育環境

(1) 学校行事への取組状況

4月…入学式、オリエンテーション

6月…ゼミ旅行

7月…球技大会

10月…総合体育祭

11月…学園祭

1月…スキー&スノーボードツアー、卒業旅行

3月…卒業式

(2) 課外活動

- ・クラブ活動

ドッグスポーツクラブ、野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部など

- ・ドッグセラピー活動

月に1回、高齢者施設に訪問している。学校犬とのふれあいを通じて学生と利用者様とのコミュニケーションを大事にしながら地域貢献活動として取り組んでいる。

6. 学生の生活支援

- ・就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、業界・企業研究、筆記および面接試験対策、インターンシップなどの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施している。

- ・学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。

学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、学生相談室、就職相談室のお知らせ等を年に4回保証人に送付している。また、必要に応じて保証人と面談をし、学生の指導に役立っている。

- 一人も退学者を出さずことなく入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減に努めている。
退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにし、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録している。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心がけている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。
- 無断欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。
- 学生の学業を全うさせるため、経済的諸問題の解決を支援する必要がある。そのために、特別奨学生試験、各種特待生制度、学費延納制度を設けている。令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として愛知県より確認された。引き続き次年度も確認されている。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

【動物管理学科】

1 年 次	前期納入額 (入学手続時)	入学金	前期授業料	演習費	維持費	合 計
		200,000	370,000	90,000	80,000	740,000
2 年 次	後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000
	前期納入額	3月5日まで	前期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000
後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計	
		370,000	90,000	80,000	540,000	

※上記以外にかかる費用：

○出願時選考料 一般入学 20,000 円、推薦入学 15,000 円、自己推薦 15,000 円

○入学後に係る費用

- ・実習用具費・ユニホーム代等 約 180,000 円
- ・愛玩動物飼養管理士受験料（2級） 32,000 円

○その他

- ・健康診断料 2,300 円／年
- ・補助教材費 約 3,000 円／年（学年次ごとに異なる）
- ・各種検定料 約 30,000 円／年（学年次ごとに異なる）
- ・学生・生徒災害傷害保険 1,610 円／2年間分
- ・インターンシップ特約 250 円／1年間分（毎年1年毎に支払い）

【動物看護学科】

1 年 次	前期納入額	入学金	前期授業料	演習費	維持費	合 計
	(入学手続時)	200,000	370,000	90,000	80,000	740,000
	後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000
2 年 次	前期納入額	3月5日まで	前期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000
	後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000
3 年 次	前期納入額	3月5日まで	前期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000
	後期納入額	8月20日まで	後期授業料	演習費	維持費	合 計
			370,000	90,000	80,000	540,000

※上記以外にかかる費用：

○出願時選考料 一般入学 20,000 円、推薦入学 15,000 円、自己推薦 15,000 円

○入学後に係る費用

- ・実習用具費・ユニホーム代等 約 190,000 円
- ・愛玩動物飼養管理士受験料（2級） 32,000 円

○その他

- ・健康診断料 2,300 円／年
- ・補助教材費 約 10,000 円／年程度（学年次ごとに異なる）
- ・各種検定料 約 30,000 円／年程度（学年次ごとに異なる）
- ・学生・生徒災害傷害保険 2,340 円／3年間分
- ・インターンシップ特約 250 円／1年間分（毎年1年毎に支払い）

（2）活用できる経済的支援措置

- ・学費支援制度 特別奨学生試験 ⇒ [特別奨学生試験](#)
- ・学費支援制度 スポーツ特待生 ⇒ [スポーツ特待生](#)
- ・学費支援制度 資格や経歴による特待生 ⇒ [資格や経歴による特待生](#)
- ・高等居生野修学支援新制度（給付型奨学金、授業料・入学金減免） ⇒ [高等教育無償化](#)
- ・日本学生支援機構の奨学生制度（貸与型奨学金） ⇒ [日本学生支援機構の奨学生制度](#)
- ・国の教育ローン ⇒ [進学ローン](#)
- ・提携教育のローン ⇒ [提携教育ローン](#)

8. 学校の財務

[財務情報](#)

9. 学校評価

[自己評価報告書](#)

学校関係者評価報告書

10. 国際連携の状況

・留学生の受入れ

(募集学科)

学科名	修業年限	募集
動物看護学科	3年	○
動物管理学科	2年	○

(出願資格)

以下、①～④の要件をすべて満たす者。

- ①すでに日本語学校などに在籍し、留学の在留資格を有する者。
- ②外国において通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- ③以下の1～5の条件を1つ以上満たし、本学において教育を受けるに足りる日本語能力を試験等により証明された者。
 1. 日本語能力試験 (JLPT) N2以上に合格した者。
 2. 日本留学試験 (EJU) の日本語科目200点以上を取得した者。
 3. 日本国内の日本語教育施設で1年以上の日本語教育を受けた者。
 4. 日本の学校教育法第1条に規定する学校 (幼稚園を除く) において1年以上の教育を受けた者。
 5. BJT ビジネス日本語能力テスト400点以上を取得した者。
- ④本学在学中の一切の費用が保証される者。

(入学選考方法)

- (1) 書類選考
- (2) 日本語筆記試験 (30分)
- (3) 作文試験 (30分)
- (4) 面接試験 (30分)

(留学生学費支援制度)

資格・出席による奨学生制度

出席率による奨学生制度

留学生特別奨学生試験

11. その他

学則

以上